

京交山岳部報

今月のテーマ

〔第1772回例会〕

大段山 (△966)

日時 3月4日(日)
集合 JR西大路駅前AM6:30
コース 南IC-中国山崎IC-29号-
一宮町^{オチヤイマ}百千家満-千町…大段山…
(往路下山)
担当者 伊藤潤治
備考 20万図姫路、5万図大屋市場

〔第1774回例会〕

三平山 (△1,010) 金ヶ谷山 (△1,164) 毛無山 (△1,218)

日時 3月17日(土)~18日(日)
集合 JR西大路駅前AM6:00
コース 南IC-落合IC-新庄村…三平
山…新庄村(泊)…金ヶ谷山…毛
無山
担当者 三橋 勉 (☎565)
備考 3月10日迄に連絡のこと。
20万図高梁、5万図湯本

《スキーを楽しむ》

〔第1773回例会〕

木曾駒ヶ岳

日時 3月10日(土)~11日(日)
集合 PM2:00壬生
コース 東IC-駒ヶ根IC-(ロープウ
ェイ)千畳敷…駒ヶ岳
担当者 岡田茂久 (☎256-6504)
備考 冬山装備、シュラフ
参加希望者は連絡のこと。

〔第1775回例会〕

楠とし子さん退職記念登山 近江富士(三上山)

日時 3月21日(祝)
集合 壬生AM8:30
担当者 [本局]
大槻、三橋、方山、原田
備考 主食のみ持参のこと。
参加費用 実費
記念品のみ賛同の方は500円を
担当者まで。

〔第1776回例会〕

1等三角点スキー登山(3)

妙高山(△2,445.9)

日時 3月23日(金)～25日(日)
 集合 九条PM9:00
 コース 東IC-上越IC-池ノ平…妙高山(2,445.9)…池ノ平(泊)
 -スキー場-赤倉温泉
 担当者 大槻雅弘(☎544)
 備考 スキー登山用具一式とテント泊の用意をして下さい。
 費用15,000円

〔第1777回例会〕

新人歓迎登山

金毘羅山(△572.8)

日時 4月1日(日)
 集合 金毘羅馬場9:15又は北大路タ
 -ミナル
 7:50発の北6バスに乗ること。
 内容 初級 岩登り
 担当者 検車区 大倉(☎2-3382)
 梅津 吉田(☎654)
 備考 参加者は連絡のこと。

〔第1778回例会〕

荒島岳

日時 4月7日(土)～8日(日)
 集合 壬生PM1:00
 コース 東IC-福井IC-大野…荒島岳
 担当者 梅津 吉田 武(☎654)
 備考 残雪期、冬山の用意要す。
 テント泊。

平成元年度

総会のお知らせ

日時 3月15日(木)PM6:30
 場所 下鴨寮
 参加費 1,000円(食事代)
 担当者 三橋(☎822-9122、局565)
 津田(☎841-7960、局870～4)
 大木(☎822-9178、局745)
 備考 食事の準備の都合がありますので、必ず担当まで申し込んで下さい。

企画運営委員会

日時 3月20日(火) PM6:30
 場所 厚生会館4F大教室



太郎坊山の謎

岡田茂久

小春日和の日曜の午後、急に思いついて湖東の太郎坊山を訪ねた。近頃、興味を持っている古代太陽信仰の遺跡を確かめて見たかったのである。

太郎坊山は、日本五大山城の一つ、近江六角氏の居城の観音寺城と旧中山道を挟み、付城の養作

城のある養作山と尾根続きで、蒲生平野の唯中に突出した特異な山容の山魂を作っている。

山麓から太郎坊宮に参るには車道もあるが、通常は山麓から300段ほどの急な石段を登る。

山の中腹に、岩壁にへばりつく様に太郎坊宮の本殿が建てられている。この本殿の前の巨大な岩が、真二つに割れたような形状で夫婦岩と呼ばれており、本段に参るにはこの巨岩の割れ目の間を通る。幅は約70cm。長さは約10mはあろうか。

この割れ目が古代の太陽観測の遺跡ではないかと言われているものである。方位を計ってみると約240度、東西の線から南に30度の方向で、これは冬至の日の入りの方向になり、逆の方向は夏至の日の出方向である。割れ目から見ると正面に、太郎坊宮の本殿が建てられており、実際には日没は見ることが出来ないが、この方向に本殿が祭られていること事体意味を持つように感じる。

太郎坊山は山そのものが神である神体山とされているが、本殿の後ろは空間であり、本来は日没時の太陽を神としたものと思われる。太郎坊宮を阿賀神社また赤赤さんともいうが、日没時の太陽は真赤に見えるからというのは、余りに素人臭い考えだろうか。割れ目そのものは巨岩の様子から見て、もともと多少は存在したであろうが、人為的に明らかに意味づけして加工されている。

太郎坊宮本殿前の小さな舞台から蒲生平野を見降ろすと、小さな丸い山が養作山の裾にぼこりと見える。紅かす山という。地図で確認したが、これも西南240度の方向であり、如何にも取って付けた感じで、これも人工の山では無いだろうかと言われている。

湖東までわざわざ出掛けて、たったこれだけの事を確認しただけであったが、話には聞いていたが実際自分の目で見たとき、なんとも言えない興奮を覚えたのである。

ちなみに近郊で古代太陽観測線ではないかと言われているものに、この太郎坊宮から三上山。琵琶湖の沖の島から瓢箪崩山。国体予選の踏査競技コース上の瓢箪崩山の肩にある某宗教団体の磐座も、何か関係が有りそうな気がしてくる。子供の頃の遊び場であった太秦蚕の社。木の島神社の禊場に有る三角鳥居からは、松尾神社の日崎峰は冬至の日の入り方向。四明ヶ岳は夏至の日の出方向。愛后神社は夏至の日の入り方向。稻荷山は冬至の日の出方向と聞く。

最近では、山頂にある巨岩や磐座をみると、何でも古代太陽観測線では無いだろうかと思ってしまい、磁石をだしてきょろさよろしてしまう癖がついてしまった。

帰途に、太郎坊山の裏手に当る瓦屋寺にまわってみた。人気も無く静かなたたずまいで、“無用の者立入を禁ず”の立て札が印象的であったが、境内の一遇で思いがけないものを見つけた。小さな祠の中に、表面は風化し擦り減ってはいるが紛れもなくマリア観音を私は観た。

〔第1766回例会〕 <白いロマンを求めて>

菅平合宿スキー登山

一等三角点 根子岳・四阿山

古市昌造

月 日 平成2年1月13日～平成2年1月15日

一等三角点のスキー登山となると当山岳部の中でも限られた人達の山行となる 冬山例会も大勢で楽しみたいものである。

名神・中央経由の山行である。距離・時間共申し分なく身近に信州まで行くことができる。最近の幕営も、食・住に趣向を凝らしより快適な山行に各自が努力し、衣服についても保温・発汗に優れたものを着用し防寒対策も万全を喫している。食については、都市型のグルメ指向で多彩な調理を難無くこなす味のほうもバツグンである。早朝に京都を出て午後には根子岳の山麓、菅平高原スキー場に着く。目指す根子岳・四阿山は、ガスで見えず明日の天気を祈るのみである。偵察と足慣らしをかねて私にとっては初滑りである。ゲレンデ設備は最高で、圧雪車・スノーガン等も備え夜中ゲレンデ整備をし快適なコース作りをしていた。

「根子岳」

天気は快晴目指す「根子・四阿」共幕営地より望め、額の中の冬景色を見ているようである。朝一番のリフトを乗り継ぎ終点より登行する、積雪は約70cm程度で、展望抜群の広い尾根を完璧に整備された指導標を頼りにまじかに見える三角点の櫓を目標に登る、途中避難小屋も有り展望の良さも手伝い休憩回数も多く取り心地よい気分であるが風は非常に冷たく強く吹き防寒対策は注意が必要である。登行パーティは少ないが、根子岳の鞍部にヘリポートが有りスキー屋も多い、コースは圧雪車が整備し視界さえ良ければ初心者でも充分楽しめるコースです。山頂手前の一等三角点は、新しい丸太櫓で風雪によるエビのシッポがこびりつき見事である。櫓下の雪を掘り埋もれた一等三角点とのご対面は感無量であった。根子岳直下は急スリップを繰り返したが樹氷も美しく、見事なお社のある山頂に登れたのも快晴のお陰である。強風の中での昼食もツェルトの中は快適で焼肉をし行動食にしては最高のメニューです。

スキー登山のだいごみは何といっても下りです、西向かいの妙高・北に志賀・南に八ヶ岳・遠く富士山、目の前の四阿山・眼下の菅平スキー場見飽きることのない雪景色を目に焼付け、一気に大滑降とする。背中にリック・ピッケルを背負い山屋の滑りにスキー屋の視線を背に気分良く幕営地まで滑り込む。

「幕営地」

早々にテントを撤収し、今宵の幕営地四阿山々麗の別荘地へ向かう移動である。菅平スキー場より鳥居峠越えの抜け道であるが中之沢手前の分岐で通行止めのため道路横にて幕営地とする。付近は大きな山荘のある別荘地で、林道より上を望むと明日アタックする四阿山も見え最適と思われる。前夜の強風終夜のゲレンデ整備の音も無く非常に静か。夕焼け空も赤く染まり明日の天気を保障している様子。ジャンボテントの広さとホンダ電力（発電機）の協力で、ランプ・ローソクの明るさと違い、しゃれた居心地良さである。テントの黄色が電球の光（100W 2個）ではえ道に迷ったまに通る車の標的になり道案内を夜おそくまでする羽目になった。

「四阿山」

朝6時出発の予定が吹雪と積雪のため出発を遅らす、前日のリフト利用の登山と違い四阿山の長大な裾野の末端四阿山高原別荘地までの林道歩き、そしてひたすら昇りに徹する行程である。例により読図と山勘で難無く別荘地を横切り目標の牧場に出る、先行の踏み跡もみつきり広大な牧場を直登する。零下15度強風に舞う地吹雪天候も前日同様快晴で日頃の行いの賜物と感謝々、このコースにも指導標があり途中にも、小さな社や高度表示等もありひたすら登りに徹する。展望も根子

岳同様すばらしく先行パーティーは、東京の男女8人・夫婦1組・他静岡1人・当局4人の山行です。この頂上にも社があり、先人の信仰心の深さが忍ばれます。

山頂直下の滑降は慎重に、灌木地帯はルートファインディングを確実に取り、高度1700mより1450mまでの牧場は広大なダウンヒル一本の初心者向き大滑降で登りの疲れも吹っ飛び楽しい気分朝歩いた車道えと出る。帰りは急げとばかり足早に歩き幕営地に着く。

帰路も、菅平口えの近道を東京組の車と同行し、真田・大屋・和田峠を通り下諏訪にて温泉（湖畔の湯）にも入り無事帰洛する。

〔コースタイム〕（大槻）

1月13日（土）

九条6:10-6:30東IC-13:50菅平（16:00までスキー）テント①

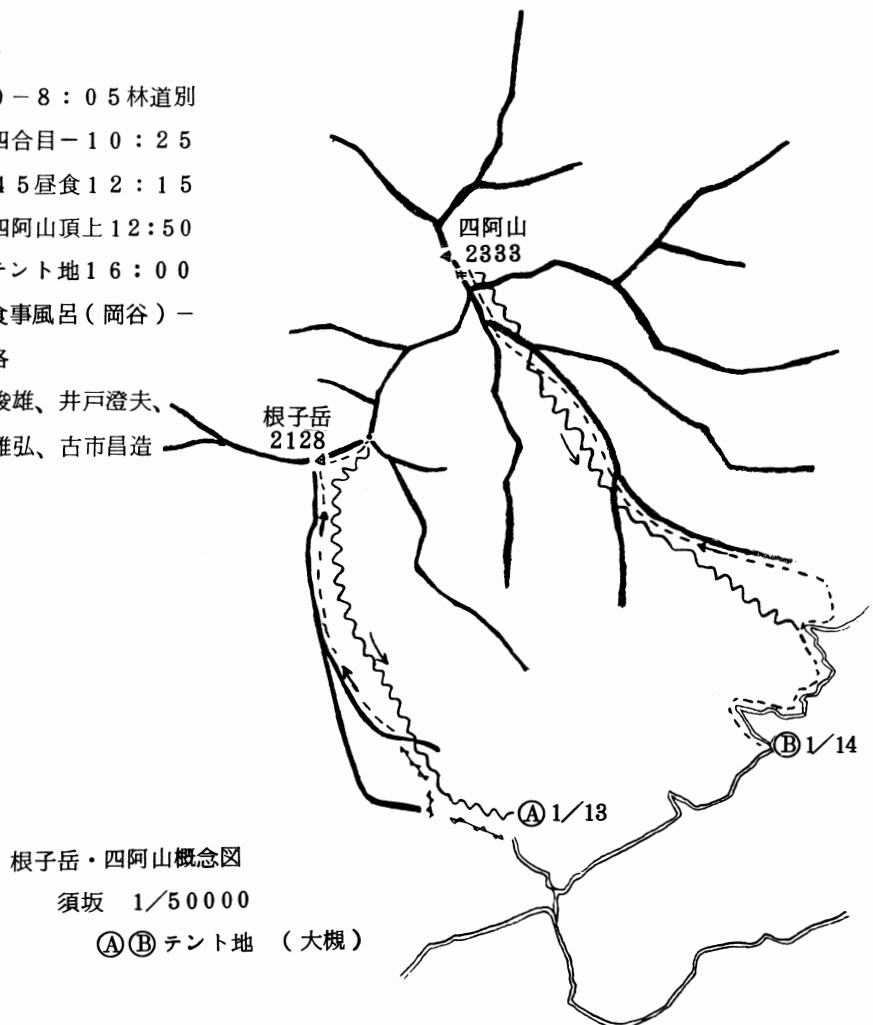
1月14日（日）

テント8:00-リフト終点9:10-10:00避難小屋-11:00△1等3角点2,128m
m-12:00根子岳13:10-13:40リフト終点-14:30テント-15:40四阿山テント地②

1月15日（月）

テント7:10-8:05林道別
レ-9:35四合目-10:25
六合目11:45昼食12:15
-12:35四阿山頂上12:50
-15:20テント地16:00
-18:00食事風呂（岡谷）-
23:00帰洛

〔参加者〕 関本俊雄、井戸澄夫、
大槻雅弘、古市昌造



根子岳・四阿山概念図

須坂 1/50000

①② テント地（大槻）

〔第1767回例会〕

壺 阪 寺 ～ 高 取 山

山 岡 昭 弘

初めて投稿いたします。

私の職場では、ほぼ月1回のペースで京都近郊の山々へ山登りに出かけていますが、山岳部の例会を企画したことはほとんどなく、昨年12月の『貴船山』に続いて今回が2回目です。

今回は、いつもの山登りとは趣向を変えて史跡巡りをしてみようということで、壺阪寺から高取山（高取城跡）という山登りを企画してみました。

1月15日（月）晴れ、午前8時に近鉄京都駅に集合して橿原神宮行き急行に乗車、奈良へと向かいました。途中、橿原神宮前にて吉野行急行に乗り換え、壺阪山駅にて下車、駅前からバスに乗り、壺阪山に着いたのは午前10時過ぎでした。

壺阪寺は、大宝元年（701年）弁基上人によって開かれた霊山で、西国三十三ヶ所霊場の第六番札所となっています。古くから眼病に霊験あらたかな寺として信仰され、参拝の多い寺なのですが、この日はなぜか人影もまばらでした。ここで、本日の山登りの無事を祈り、御朱印をいただき、高取山へと向かいました。

山道を登っていくと、自然石に刻まれた五百羅漢たちに出会った。そのそばを通りしばらく登ると小さな神社があり、それを通り抜けると間もなく林道に出た。林道が右へカーブする所に高取城跡の案内板があり、このそばを左へ曲がって壺阪門跡から中門跡と石垣の続く中を右に左に回って二ノ丸跡に着いたのは、ちょうど正午でした。

この見事な石垣の前の広場で昼食をとり、石垣を登って本丸天守跡へと進みました。この天守跡に高取山三角点（583.9m）があり、記念撮影の後、高取山を巻くようにして芋ヶ峠へと向かいました。

途中、596.5mの四等三角点を踏んで芋ヶ峠に着いたのは午後3時前でした。峠のお地藏様に手を合わせ、栢森へと向かいました。芋ヶ峠からは林道歩きとなり、左に高取山を望みながら、だだら坂道を下っていきました。

森を過ぎてしばらく歩くと、林道に添って流れていた川にしめ縄がかかっていました。ここからが稲淵です。村の中ほどの林道の右手に、南淵請安先生（奈良山岳会編「大和青垣の山々」参照）の墓がひっそりと建っており、そのそばのかわいいお地藏様たちには、ビワの葉の上に白餅と赤飯とをのせたものがお供えしてあり、ひなびた山村の雰囲気をかもし出していました。稲淵のはずれに来ると先ほどと同じようなしめ縄が先ほどと同じようにかかっていました。

しめ縄を過ぎると間もなく、高松塚古墳方面、石舞台方面の分岐があり、石舞台方面へと向かいました。石舞台に着いた時には薄暗くなっており、残念ながら見学することはできませんでした。バスにも乗り遅れてしまったため、明日香村の雰囲気を楽しみつつ岡寺駅まで歩くことになりました。

橿原神宮前からは京都行特急にて帰宅の途に就きましたが、途中、車窓からは、遠く若草山の山焼きが見えました。

おつかれさまでした……………。

[参加者]

津田（F1）、大倉、大木、奥村、横井、石田、三橋婦人、原田、ゲスト（市役所）西尾直樹、山岡（記）

[コースタイム]

近鉄京都駅 8：16 → 橿原神宮前駅 9：26 ~ 9：42 → 壺阪山駅 9：49 ~ 9：52 → 壺阪寺 10：00 ~ 10：50 → 五百羅漢 11：10 → 高取山（高取城跡）12：00 ~ 13：40 → 竿ヶ峠 14：50 → 森 15：50 → 稲刈 16：30 → 石舞台 16：50 → 岡寺駅 17：44 → 橿原神宮前駅 17：47 ~ 17：57 → 近鉄京都駅 18：50

[第1768回例会] 雪山大会

野沢温泉スキー&登山（毛無山1650m）

大倉 寛治郎

京交山岳部年間計画の中で、平成2年2月に雪山大会としてスキーバスを出す事になり担当者として、三橋氏と大倉が当ることになる。8月頃から準備にかかり、日程、民宿、観光バス、料金等色々調査検討し、最終的に、2月3.4.5日、野沢温泉スキー場、民宿マルトミさんと決めた。

毎年岳連ツアーで利用していて、今回も大変お世話になり色々御配慮頂いてたすかりました。

人員の確保が大変で、予定の40名にはほど遠く、半分足らずの参加では、中止か、マイカーに切替えてはとの意見も、あったりしたが、日程の変更もままならず部員名氏の御協力で38名の参加者を得る事ができた。

当日、2月2日午後8時、竹田から出発、京都駅から市役所で全員乗車、勤務等の都合で参加のできなかった三橋氏の見送りを受け予定どおり21時に出発した。

車内は快適で、少々アルコールも入り、話に花がさき、思いはもうゲレンデに、道中はチェーンもまかずに午前6時過ぎに野沢中央バスターミナルに着く。民宿に入り、朝食後、各グループに別れゲレンデへと向う。初めての方2名はスクールクールへ、奥村氏と津田氏は、1日目は温泉めぐり、2日目は長野善光寺参り、そして3日目は毛無山登山、山頂の無料休憩所で我々と合流、昼食の後、灯籠本峠を通過して下山という3日間を過ごされた。

天候も比較的恵まれた方で、皆、けがも無く思いきり3日間のスキーを楽しむ事が出来た。又、都合で一泊2日のみの参加となった、方山さんと遠藤氏とは、2日目の夜行バスで帰られるので、別れをおしみ、みんなで盛大にお見送りをしました。

その他、外部から参加頂いた皆さんも、それぞれに楽しんで頂き、担当者としてホッとしています。

何しろ、初めての事なので、とまどいもあり、日程や参加で御無理をお願いしたり、御協力を頂いたり、行き届かない所もあったと思いますが、この紙面を借りて皆さんにお礼を申し上げます。

又、当日は色々吉田氏にお手伝をお願いして運営しました。ほんとうにありがとうございました。

〔参加者〕

岡田 茂久、武田喜久郎、武田 雅子、吉田 武、奥村 弘信、津田 実、津田 照子、大倉寛治郎、大倉由喜子、大倉 和寛、大倉 順子、大槻 貞従、竹田 勉、三橋ますみ、方山 宗子、山岡 昭弘、山岡 美香、滝本 紀子、松田 誠二、神崎 勝成、遠藤 晃一、西尾 直紀、水谷 利雄、佐藤 直美、藤林 雅信、八木 孝、小野 季子、久郷 利子、酒井 治子、上月 福万、大石八千代、東 一博、勝岡 美登、大賀 恵子、石谷 康雄、中谷 絹子、黒田 邦彦、南辻 静是（以上38名）

〔個人山行〕

京 都 北 山 △676.9m（点名）馬場

津 田 実

例年スキーの出来ぬ小生は、冬場は誰からもお誘いがなく無聊をかこう季節。

嗚呼、今日も誰も声をかけてくれなかった。と落魄を嘆く日々である。

ところが、天は我をみ放さず思いがけぬ岳友よりの朗報。「明日迎えに行くから待つとれよ」「どこ行くまんねーん」「そらわからん、ミステリックな山行も面白いやろ」。

かくてまたもや、R162号を周山へと車を駆る。周山はお馴染の柳屋さん（この家の主人は郷土史家で、いろいろ勉強になるお話を教えて戴いた。）でお飲み物や食糧を仕入れ、小塩、中ノ町、火の見櫓のもとに車をとめる。

小塩川右岸を少し下がり鉄の橋を渡りその儘、谷間の小道を遡行する。野沢以来、山へ行っていないのですぐに息が切れて先頭の岡田部長の駿足が恨めしい。まさに屠所に引かれる羊の如くトボトボとたより無い足元我れ乍ら情けない始末。（こんな恰好オバハンだけにはみせとうない、）然し、絶好の晴天と心強い岳友2人に励まされ水線の切れる地点に辿りつく。

その付近からは今までの小径は踏跡となり、よく手入れされた杉の植林が雑木林に変わり、前方に目標の稜線が近付いてきた。だが傾斜はいよいよきつづく、お得意の四輪駆動もクラッチが滑りエンジンの空ふかし、昭和2年製のボンコツでは難儀せんばん。それでもなんとか稜線に這い登り、一本立てる。「アーシンド」。そこから三角点まではすぐだった。2月18日、厳冬期とは思えぬ薫風に吹かれて叫ぶ万歳はまた、格別のもの。なによりも山神様のお下がりをお受け、岡田シェフの珍料理を待つ。

そもそも本日のメニューは、ヤキソバのアンカケなるものが出来る予定のところ例によって一・二品材料不足、またもや皿に盛られた黒いケッタイナ・ホソナガイモノ。過日は蒟蒻のステーキ（黒焼）であったが、「どや、お父さん美味しいやろ、お代りアルデー」「次はピラフや、山で食わなったらヘタバルデーどどんお食べ」こんなやつたら今度、白い長い帽子を進呈せなアカンナー。おいしいお料理のあとは、コーヒーに、大槻さんの煎茶を戴く。青空のもと松籟を朋に野立てとは誠に心憎い演出。とうとう持参のラーメンはお持ち帰りとなる始末。

帰りは三角点から西へ向かう予定が北東へ軌道修正、尾根に行く。出発地点から少し歩くと右手に赤いテープが右下へと誘う。そちらへ行こうとしたら大槻さんが「そこを降りたら黒田へ行く」

ととめられた。(家へ帰って地図を見ると旧臘行った黒田発電所の少し上手の谷に出ることが判った) テープを右に送り前方のコルを目標に疎林の中を進む、コルの真下の支尾根を滑落に近い速度で急降下すること屢し、真下に小塩川と東谷林道がみえた。

東谷林道を小塩へ行くと右手から谷がきている。待てよどうも見たような地形(これも後で地図をよく調べると以前、三橋さんとソトバ山へ行った帰りに通った谷だった。)

次ぎの谷はコシキ峠に通じる林道である。ここまで来ると西の谷と東の谷の分岐を過ぎJRバス小塩停留所はすぐだ。

帰りは時間が早いので下中のマンガン鉱を見学、10数億年前の地層とその採掘に従事した韓国、朝鮮の人々の御苦勞を知り、よい勉強をさせて戴いた。

山と鉱山と隣国の人々の御苦勞を知る、勉強の充実した一日を過ごさせて戴いた。岡田、大槻両兄、ありがとうございました。

1990. 2.18

(参加者) 岡田 茂久、大槻 雅弘、津田 実

例 会 報 告

例会No	目的地	月 日	天候	担当者	参加者	記事
1766	スキー登山 根子岳・四阿山	1月13日 ～15日	晴	大槻 雅弘	関本、古市、 井戸(4名)	別稿詳報
1767	壺阪寺～高取山	1月15日	晴	山岡 昭弘	津田F1、大倉 大木、奥村、横井、石田、 三橋夫人、原田、西尾(市役所) 山岡F1 (以上11名)	別稿詳報
1768	雪山大会 野沢温泉スキー と毛無山登山	2月 2日 ～6日		大倉寛治郎	別稿詳報 (38名)	別稿詳報

雑 報

❖ 他山岳会の会報（受贈分）

12月号 青嶺

1月号 木雞、趣味の登山、京都山岳、一等三角点、比良山岳、日本山岳会、京都支部だより №18

2月号 木雞、比良山岳、近畿山行、山友、趣味の登山、京都山岳、北山、青嶺、跋涉譜

❖ 新入部員のお知らせ

松 田 誠 二 所 属 検車区

住 所 〒612 伏見区深草大亀谷六躰町10-10

生年月日 昭和40年3月21日 血液型 AB型

❖ 2月の集会

2月13日（火）

出席者（本局）岡田、大槻（雅）、三橋、古市、和田、大木、井戸

（高速）大倉、山岡、（梅津）吉田 （OB）坂井、奥村、横井 以上13名

内 容 例会報告他

❖ 日山協山岳保険

平成2年度の山岳保険の申し込みを受け付けますので、今年も多数加入されるようおすすめします。

申し込み先 設計課 大木（☎822-9178、局874）

申し込み〆切 3月15日（総会）

共済期間 平成2年4月 1日～平成3年3月31日

掛 金 未 定（元年度は7,920円）

❖ 京都府山岳連盟

積雪期登山研修・検定開催について

日 時 3月22日（木）夜～25日（日）

場 所 ハケ岳（赤岳・横岳周辺、赤岳鉱泉B.C.）

集 合 22日PM9：00 京都市役所前

参加費 25,000円

備 考 詳細は検車区 大倉まで（☎2-3382）

＜予告＞ 平成2年度厚生会登山

妙高登山と燕温泉（案）

- 8月9日（木） 京都駅八条口（21：30）－東IC（名神・中央高速）豊科IC－長野－妙高
8月10日（金） 妙高－杉野沢民宿・明星荘（洗顔、朝食）－笹ヶ峰…（登山）…黒沢池ヒュッ
テ（泊）
8月11日（土） 黒沢池ヒュッテ…妙高山…燕温泉（泊）
8月12日（日） 燕温泉－野尻湖畔－戸隠神社中社（参拝、昼食）－長野－穂高大わさび園－豊
科IC－京都（20：40）

※ 山岳部員で参加希望の方は日程調整しておいて下さい。

御 婚 礼
御 引 越  地方宅配
運搬専用

ぎおん菊水運送株式会社

山科配車センター・京都市山科区西野山階町12-12

TEL (075) 581-3101
祝 い さ い わ い

本 社・京都市東山区大和 大和 通 四 条 下 ル
TEL (075) 541-2345(代)

お知らせ

御得意様各位

平素は、格別のお引きたてにあずかり厚く
御礼申し上げます。
昭和63年6月より、新住所にて営業致します。
旧倍に増して、御来店の程心よりお待ち申し
上げます。

記

新住所 〒600 京都市下京区不^あ明門通り六条下る西側
(烏丸通りより1筋東の通り)
TEL 075-351-6598代

㈱ 小林地 函 専 門 店

SINCE 1980
THE LOG CABIN CO.
H.HASEGAWA'S SHOP
FOR ALPINISTS
KYOTO JAPAN

結婚引出物・内祝・開店記念品・粗品
仏事用お返し品・お中元・お歳暮用品

贈答品総合センター

厚生会指定

サンコークラフト

西 島 輝 雄

左・川端丸太町下る下堤町88
TEL (075) 771-3442

帆 布 ・ 瀘 布
テント ・ シート
雨 合 羽

木村工業有限会社

京都市中京区ミズ車庫前

TEL 801-5331 (代)

西大路営業所

下京区西大路七条下ル

TEL 321-0251

登山とアウトドア専門店

今、アウトドア派大集合!!

- 登山用品はもちろん、
注目のスポーツ
カヌーをはじめ、
ひと味違う充実の
品揃えは必見のもの!!



ビッグホリイケ

営業時間 AM10:00~PM9:00 <年中無休>
京都市中京区御池通高倉西入(千代田生命京都御池ビル2F)
☎(075)222-0363

京都で唯一の山の専門店

Now Out door sports

ハイキング&キャンピング・クライミング
アウトドアウェア・US原出品
ポータスカウト用品

MOUNTAIN

〒604 京都市中京区二条通河原町西入

TEL 075(258)-0548

●営業時間 AM10:00~PM8:00 毎週火曜定休
(株) スポーツ コニシ

- 技術とサービスの創る!印刷

株式会社

北斗プリント社

タイプ・写植オフセット印刷 ●電子写真印刷

〒606 京都市左京区下鴨高木町38-2(バス停前)

TEL(075)791-6125(代)

FAX(075)791-7290

平成2年3月1日

京都市中京区壬生坊城町48

京都市交通局内

京交山岳部